

北陸地方整備局
伏木富山港湾事務所

記者発表

発表日
令和6年6月26日

「伏木富山港港湾脱炭素化推進計画」が作成されました
～改正港湾法施行後、北陸地方整備局管内2例目の法定計画～

伏木富山港では、港湾・臨海部産業の競争力強化や脱炭素化社会の実現に向け貢献するため、令和4年2月に官民が連携する協議会を設置し、これまでカーボンニュートラルポート形成に向けた協議が進められてきました。

この度、同協議会での協議結果をとりまとめた「伏木富山港港湾脱炭素化推進計画（法定計画）」が作成されましたのでお知らせいたします。

当局では、富山県や港湾関連事業者の皆さまと連携し、引き続き、伏木富山港における脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化等に向けて取組みを進めてまいります。

【カーボンニュートラルポートとは】

国際物流の結節点・産業拠点となる港湾において、脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化や、水素・アンモニア等の受入環境の整備等を図ることを目指す取組み

【計画の概要】

- ・別添「伏木富山港港湾脱炭素化推進計画【概要版】」をご覧ください。

※計画の詳細については、以下の伏木富山港港湾脱炭素化推進協議会（事務局：富山県）HPをご確認ください。

<https://www.pref.toyama.jp/1504/kendodukuri/dourokouwan/kouwan/kj00025555/index.html>



発表記者クラブ

富山県政記者クラブ
専門紙

お問い合わせ先

＜伏木富山港港湾脱炭素化推進計画の内容に関する＞
富山県土木部港湾課 池田

TEL：076-444-3334（直通）

＜その他、本件に関する＞

国土交通省北陸地方整備局 伏木富山港湾事務所
企画調整課長 伊藤 TEL：076-441-1904（直通）

伏木富山港港湾脱炭素化推進計画

【概要版】

令和6年6月

富山県（伏木富山港港湾管理者）

伏木富山港港湾脱炭素化推進計画 概要版（1/2）

1. 港湾脱炭素化推進計画の基本的な方針

（1）伏木富山港の概要

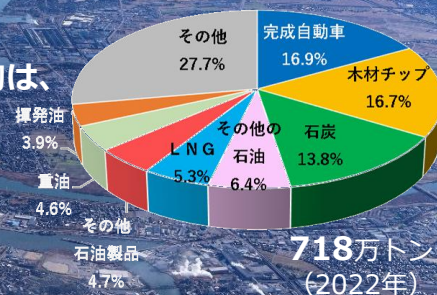
本州日本海側のほぼ中央部に位置し、富山県を中心に北陸地方の物流拠点として、重要な役割を担っている。

対岸諸国や東南アジアをはじめ世界各国を結ぶ国際貿易港である。

石炭、LNG等のエネルギー関連の貨物は、取扱貨物量全体の約4割を占めている。



【伏木富山港の取扱貨物量】



（2）取組方針

① 温室効果ガスの排出量の削減並びに吸収作用の保全及び強化

港湾地域の面的・効率的な脱炭素化を図る

- 低炭素型の荷役機械、省エネ設備等の導入を検討し、港湾オペレーションの脱炭素化を図る。（ターミナル内）
- 火力発電、化学工業等が集積する臨海産業と連携し、省エネ設備・再エネ導入を推進し、港湾地域で面的に脱炭素化を図る。（ターミナル外）
- ブルーカーボン生態系の保全、緑地整備によるCO2吸収の取組を推進。

② 港湾・臨海部の脱炭素化への貢献【エネルギー供給】

水素・燃料アンモニア等のサプライチェーンの拠点としての受入環境の形成

- 官民連携による次世代エネルギーの安価で安定的なエネルギー供給に向け、水素等の利活用が期待される背後地でのインフラ整備を検討。

カーボンニュートラルポート（CNP）の形成

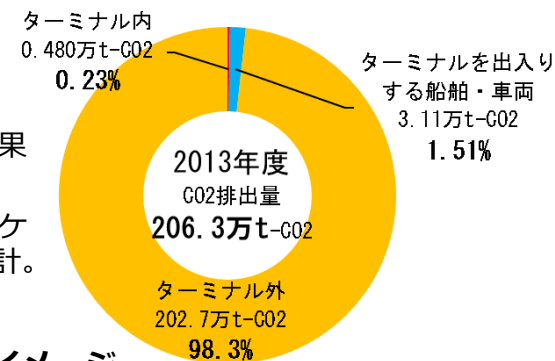
- 脱炭素化に取り組む荷主・船社の伏木富山港の利用を誘致
- 臨海部産業の競争力強化や脱炭素社会の実現に貢献

2. 港湾脱炭素化推進計画の目標

（1）計画期間は2050年まで

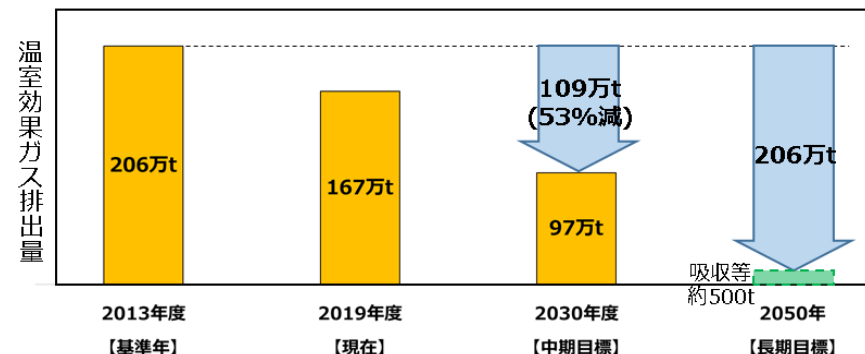
（2）温室効果ガス排出量の推計

- 港湾周辺において、主要な温室効果ガスであるCO2排出量を推計。
- 事業者のエネルギー使用量をアンケート等で収集し、CO2排出量を推計。



（3）温室効果ガスの排出量の削減イメージ

- 計画対象事業所のCO2排出量削減の取組についてヒアリング等を通じて把握した上で、県全体の削減目標を基に検討した。



（4）計画の目標：分野別のKPI及び中長期別の具体的な目標を設定

KPI (重要達成度指標)	具体的な数値目標	
	中期 (2030年度)	長期 (2050年)
【KPI 1】CO2排出量	97万t-CO2/年 (2013年度比 53%減)	実質 0 t-CO2/年
【KPI 2】CO2吸収量	402t-CO2/年	513t-CO2/年
【KPI 3】水素等の取扱貨物量 (火力発電以外)	1万t (水素換算)	7万t (水素換算)
【KPI 4】コンテナ貨物を取り扱う 低・脱炭素型荷役機械導入率	100%	
【KPI 5】ブルーカーボン生態系の 保全・再生・創出	保全・再生・創出 9ha	

伏木富山港港湾脱炭素化推進計画 概要版（2/2）

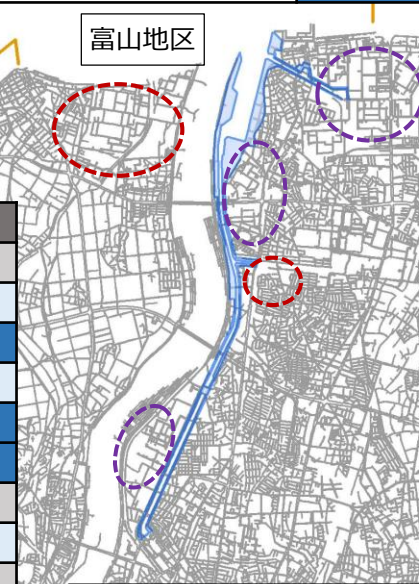
3. 港湾脱炭素化推進促進事業（促進事業）及び脱炭素化の促進に資する将来の構想（将来構想）

本計画の目標を達成するために 実施する取組（促進事業） 及び 将来想定される取組（将来構想）

富山地区

事業の内容	取組み
ターミナル内	
管理棟等の省エネ化	照明設備のLED化【富山県】
車両・荷役機械の低炭素化・FC化	荷役機械等の脱炭素化 【港湾運送事業者等】
出入する船舶	
船舶への電力供給	陸上電源供給設備の検討【富山県】
ターミナル外	
事務所・工場等の省エネ化・再エネ電力化	グリーン電力の購入【製造事業者】
事務所・工場等の燃料転換	ボイラーの燃料転換 (重油→LNG)【三菱ケミカル】

富山地区



【計画の対象範囲】

- ターミナル内（公共・専用）
- ターミナルを出入りする輸送車両・船舶
- ターミナル外
→臨港地区に隣接する多量の温室効果ガスを排出する(10kt-CO2/年以上)事業所

伏木地区

新湊地区

新湊地区

伏木地区

事業の内容	取組み
ターミナル内	
管理棟等の省エネ化	照明設備のLED化【富山県】 コンテナターミナル照明のLED化【富山県】
車両・荷役機械の低炭素化・FC化	荷役機械等の脱炭素化【港湾運送事業者等】 ハイブリットRTGの導入【伏木海陸運送】 ハイブリットRTGの導入【富山港湾運送】
出入する船舶	
船舶への電力供給	陸上電源供給設備の検討【富山県】
ターミナル外	
事務所・工場等の省エネ化・再エネ電力化	グリーン電力の購入【製造事業者】 太陽光発電の導入【富山住友電工】
荷役機械の脱炭素化	水素フォークリフトの導入【伏木海陸運送】 バッテリー式フォークリフトの導入【三協立山】
ターミナル内外	
水素・アンモニア等受入	水素等の受入環境整備の検討【富山県】

事業の内容	取組み
ターミナル内	
管理棟等の省エネ化	照明設備のLED化【富山県】
車両・荷役機械の低炭素化・FC化	荷役機械等の脱炭素化 【港湾運送事業者等】
出入する船舶	
船舶への電力供給	陸上電源供給設備の検討【富山県】
ターミナル外	
事務所・工場等の省エネ化・再エネ電力化	グリーン電力の購入【製造事業者】 太陽光発電の導入【製造事業者】
事務所・工場等の燃料転換	カーボンニュートラルLNGの購入【製造事業者】 水素燃料発電機の導入【製造事業者】 ボイラーの燃料転換 (重油→都市ガス)【東亜合成】
CO2吸収・貯留	ブルーカーボン生態系の創出

